



## Telnet の設定

---

この章の内容は、次のとおりです。

- [Telnet サーバの概要, 1 ページ](#)
- [Telnet の前提条件, 1 ページ](#)
- [Telnet の注意事項と制限事項, 1 ページ](#)
- [Telnet のデフォルト設定, 2 ページ](#)
- [Telnet の設定, 2 ページ](#)
- [Telnet の設定の確認, 4 ページ](#)
- [Telnet 機能の履歴, 5 ページ](#)

## Telnet サーバの概要

Telnet プロトコルは、ホストとの TCP/IP 接続の確立を可能にします。Telnet を使用すると、あるサイトのユーザが別のサイトのログインサーバと TCP 接続を確立し、デバイス間でキーストロークをやり取りできます。Telnet は、リモートデバイスアドレスとして IP アドレスまたはドメイン名のいずれかを受け入れます。

## Telnet の前提条件

レイヤ 3 インターフェイス上に IP、mgmt 0 インターフェイス上にアウトバンド、またはイーサネット インターフェイス上にインバンドを設定していること

## Telnet の注意事項と制限事項

- Telnet サーバはデフォルトでイネーブルになっています。

- Cisco NX-OS コマンドは Cisco IOS コマンドと異なる場合があります。

## Telnet のデフォルト設定

パラメータ	デフォルト
Telnet サーバ	Enabled

## Telnet の設定

### Telnet サーバのディセーブル化

Telnet サーバはデフォルトでイネーブルになっていますが、必要な場合は、次の手順を実行して再度イネーブルにすることができます。

#### はじめる前に

この手順を開始する前に、EXEC モードで CLI にログインする必要があります。

#### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# <b>feature telnet</b>	Telnet サーバをイネーブルにします。
ステップ 3	switch(config)# <b>show telnet server</b>	Telnet サーバをイネーブルにします。
ステップ 4	switch(config)# <b>show telnet server</b>	(任意) Telnet サーバの設定を表示します。
ステップ 5	switch(config)# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

```
switch# configure terminal
switch(config)# feature telnet
switch(config)# show telnet server
telnet service enabled
switch(config)# copy running-config startup-config
```

## リモート装置との IP Telnet セッションの開始

### はじめる前に

この手順を開始する前に、次のことを確認してください。

- CLI に EXEC モードでログインしていること。
- Telnet サーバがイネーブルで、リモートデバイスでもイネーブルであること。
- リモートデバイスのホスト名を取得し、必要な場合、リモートデバイスのユーザ名も取得していること。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>telnet</b> { <i>ip address</i>   <i>host-name</i> } [ <i>port-number</i> ] [ <b>vrf</b> <i>vrf-name</i> ]	指定した宛先との IP Telnet セッションを作成します。 次のキーワードと引数があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>port-number</i> : このセッションで使用するポート番号 (1 ~ 65535)。デフォルトのポート番号は 23 です。</li> <li>• <i>vrf-name</i> : デフォルトの VRF はデフォルト VRF です。</li> </ul>

```
switch# telnet 10.10.1.1
```

## Telnet セッションのクリア

### はじめる前に

この手順を開始する前に、EXEC モードで CLI にログインする必要があります。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>show users</b>	ユーザセッション情報を表示します。
ステップ 2	switch# <b>clear line vty-line</b>	ユーザ Telnet セッションをクリアします。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	switch# <b>show users</b>	(任意) ユーザセッション情報を表示します。

```
switch# show users
NAME      LINE      TIME      IDLE      PID COMMENT
admin     tty1      Jul 25 19:13  old      2867
admin     pts/1     Jul 28 14:04  .        31453 (::ffff:171.70.209.8)
admin     pts/2     Jul 28 14:04  .        31475 (171.70.209.8)*
switch# clear line 1
switch# show users
NAME      LINE      TIME      IDLE      PID COMMENT
admin     tty1      Jul 25 19:13  old      2867
admin     pts/2     Jul 28 14:04  .        31475 (171.70.209.8)*
switch#
```

## Telnet の設定の確認

次のいずれかのコマンドを使用して、設定を確認します。

コマンド	目的
<b>show running-config security [all]</b>	実行コンフィギュレーションのユーザアカウント設定を表示します。 <b>all</b> キーワードを指定すると、ユーザアカウントのデフォルト値が表示されます。
<b>show telnet server</b>	Telnet サーバの設定を表示します。
<b>show hosts</b>	現在のホストの設定詳細を表示します。
<b>show tcp connection</b>	接続情報を表示します。

```
switch# show running-config security all
version 4.0(1)
username admin password 5 $1$xMw2Q/1S$ZEWrvyAxAJAFV0weuSPvg1 role network-admin
username user2 password 5 $1$byNNnnSP$xfXVKjE5UEScvriwX3Kyj0 role network-operator
username user2 sshkey ssh-rsa
AAAE3zbclycZPAPBEbAPQFyK37N9K100ic9/tcHh/mQjlvGnyL/nDeOKfMhD2a+VomCCUkHhB/ZRm0VruU/5wdfVhMxMlRCBc+6/n3FvzoRwpMdgW
dMvaGDSRfjNBWtjg9MnqjWw0t3Qo0trEisQdEr/XPPhqscjcmZ2LefPZGAMZEBNfadh2w5(pDjDXD8BcP8t0jU/GnR#6ZaijQc5aBn4C65MNL
JxmqDJk0dhMArObB4Umzj7E3Rdby/ZWx/clTYiXQR1X1VfhQ==
telnet server enable

banner motd # User Access Verification #

ssh key rsa 1024 force
no ssh key dsa force
ssh server enable
```

## Telnet 機能の履歴

この表には、機能の追加によるリリースの更新内容のみが記載されています。

機能名		機能情報
Telnet	4.0(4)SV1(1)	この機能が導入されました。

